

叙勲・褒章おめでとます

さまざまな分野で活躍し、社会貢献した人を表彰する「叙勲」および「褒章」が、4月1日、内閣府から発表され、叙勲では牧智也さん（黒坂）が瑞宝双光章、褒章では廣川光保さん（根雨）、継岩亨さん（根雨）が藍綬褒章をそれぞれ受章されました。



【瑞宝双光章】（教育功勞）

元公立小学校長 ^{まき} **牧** ^{ともや} **智也** さん（黒坂）

牧さんは、昭和25年に日野郡根雨町立根雨小学校（当時）の教師として第一歩を踏み出しました。昭和62年4月からは日南町立石見西小学校長として、特色ある学校づくりに取り組まれました。退職後は、日野町社会教育委員、町公民館長に任命され、豊かな知識を生かした住民の参加意欲・学習意欲の向上を、平成7年5月からは日野町議会議員として歴史や文化を生かした魅力あるまちづくりを推進されました。また、平成11年4月から平成29年3月まで、町文化財保護審議会委員として、町の歴史・文化財保護などに取り組まれました。そうした長年の功績が認められました。

【藍綬褒章】（消防功績）

日野町消防団団長 ^{ひろかわ} **廣川** ^{みつほ} **光保** さん（根雨）

廣川さんは、昭和48年1月に日野町消防団に入団。以来、第1分団分団長や副団長を歴任。平成28年からは、日野町消防団長として消防団組織の維持・向上に取り組まれています。昭和55年に開かれた全国操法大会・小型ポンプの部で準優勝に輝き、同年の「消防百年記念消防団全国大会」天覧操法に出場されました。また、平成12年の鳥取県西部地震では、分団長として地震発生時から住民の安全確保や町全体の復旧にかかわるさまざまな活動に従事。平成13年に消防団として、特別表彰「まとい」も受賞されています。そうした長年の功績が認められました。



【藍綬褒章】（消防功績）

日野町消防団副団長 ^{つぎいわ} **継岩** ^{とおる} **亨** さん（根雨）

継岩さんは、昭和52年1月に日野町消防団に入団。以来、第1分団副分団長や分団長を歴任し、平成27年からは、日野町副団長に就任。全国消防ポンプ操法大会へ出場した経験を生かし、操法指導にあたるなど消防団組織の維持・向上に取り組まれています。また、平成12年の鳥取県西部地震では、廣川さんら多くの団員とともに地震発生からさまざまな活動に従事。そのほかにも多くの災害や火災現場で町民の生命・財産を守る活動を指揮・参加されてきました。そうした長年の功績が認められました。





貴重な資料について解説する河中さん

町出身の文豪、生田長江について深く知ってもらおうと、5月18日、町図書館で、生田長江ギャラリートークが行われました。

当日は、白つつじの会（生田長江顕彰会）会長の河中信孝さんが解説。河中さんは、生田長江関係資料展で展示されていた直筆の原稿や手紙、写真などをもとに、生田長江の思想や交友関係、その生涯などを紹介。参加者は、まちな偉大な文化人の足跡に触れ、郷土愛を深めた様子でした。

生田長江ギャラリートーク
偉大な文化人の足跡を知る



根雨駅長、埴田町長らも交え、看板の除幕

5月16日、とりぎんフェニックス倶楽部（細田耕治会長）が、根雨駅構内に観光看板を贈呈しました。

これは、同会の結成30周年記念事業として、まちな玄関口である根雨駅を訪れる人向けの看板を製作・設置されたものです。

看板は、季節ごとに「オシドリ観察」「たたら」「根雨宿」と、図柄を入れ替えることができ、特にオシドリ観察については飛来数も表示できるようになっています。

同日の贈呈式では、細田会長が「まちな交流人口を増やすため、根雨駅を生かしていきたい」とあいさつし、看板の除幕が行われました。

まちな「玄関口」に看板
とりぎんフェニックス倶楽部が根雨駅に観光看板贈呈

鳥取県美しいもりづくり功労者知事表彰

松村 譲さんに県知事表彰

林産物の生産や緑化の推進、森林保全の実践・普及などについて功績のあった団体や個人などを表彰する、「鳥取県美しいもりづくり功労者知事表彰」に、松村譲さんが選ばれ、5月27日、大山町で開かれた第63回鳥取県植樹祭の中で表彰されました。



《美しいもりづくり功労者》

まつむら 松村
ゆずる 譲 さん（秋縄）

長年にわたり、所有森林の下刈や除伐、枝打ち、間伐、再造林、作業道の整備などに努め、地域の間伐推進に大きく貢献されてきました。

地元の森林所有者の取りまとめにも努め、森林経営計画を策定するなど、持続可能な林業経営の普及にも貢献。そのほか、松くい虫被害調査員として、郡内全域の森林保全にも取り組まれています。